

自動施錠 両面ボタン 取付説明書

- K443C, K443CM, K463C, K463CM -
- K443CE, K463CE -
- K453CL, K453CG, K453CH -
- K473CL, K473CG, K473CH -



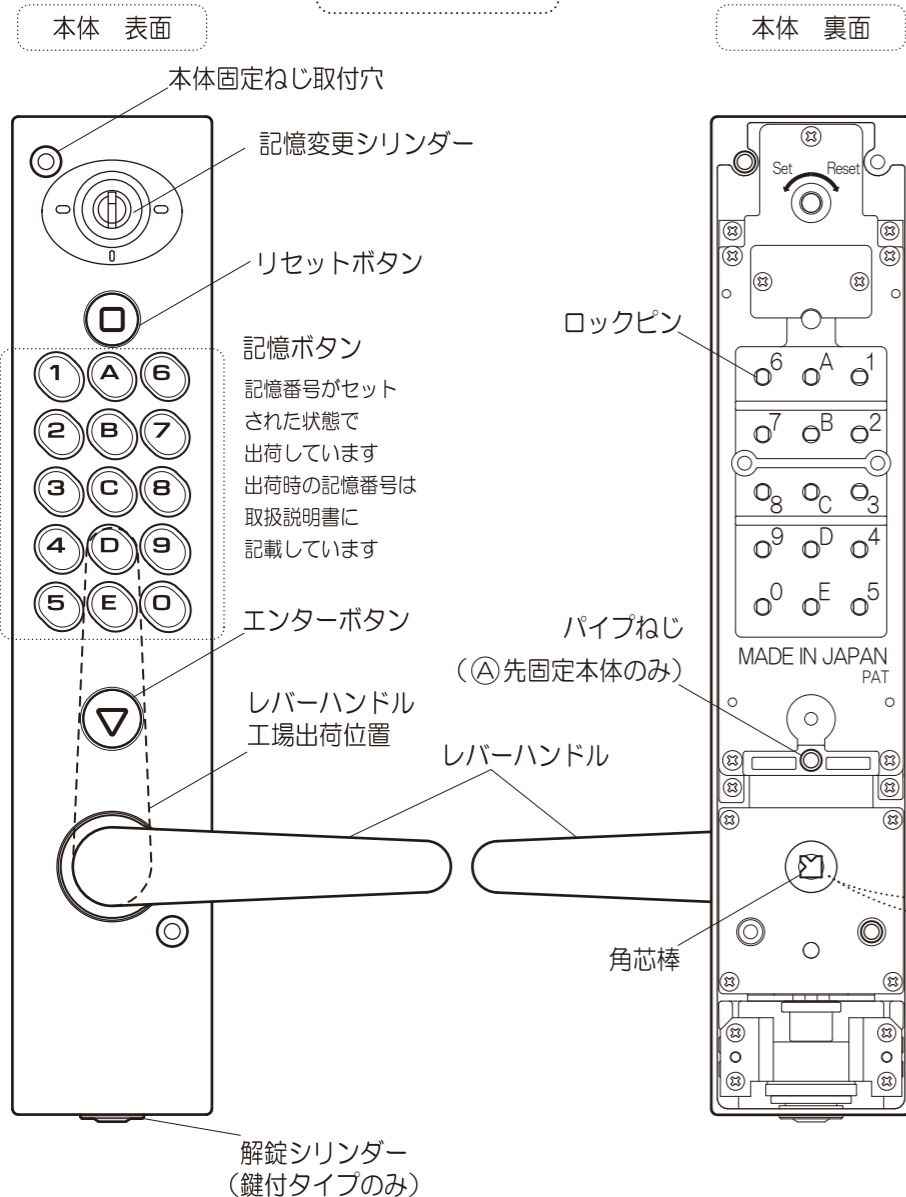
このたびはNAGASAWA 製品をご採用いただき、誠にありがとうございます。
 製品を正しく施工していただくために、本説明書の内容をご確認ください。
 引渡し時に、別紙取扱説明書（お施主様向）を、お施主様へお渡しください。
 締め付け時は、必ず手動ドライバーをご使用ください。電動ドライバーは使用しないでください。

梱包内容一覧・表を参照のうえ、部品の有無をご確認ください。

| | | | | | | | | | | | |
|-------------------------|-------------------------|-----------------------|---------------|------------------------|-------------|--------------|-------------------------|------------------------------------|--------------------------|-----------------|-----------------|
| | | | | | | | | | | | |
| パイプねじ 3本 | パイプねじ 2本 | | | | | | | | | | |
| ①先固定本体 (底面マーキングなし) 1 | ②後固定本体 (底面マーキングあり) 1 | ③本体固定ねじ 長さ 55 mm 4 | ④両面用ねじ受け 1 | ⑤本体仮止めねじ 長さ 20 mm 1 | ⑥錠 set 1 | ⑦受座 set 1 | ⑧錠・受座取付ねじ 長さ 25 mm 4 | ⑨六角穴付きねじ (レバー仕様のみ) 長さ 8 mm 2 | ⑩六角レンチ (レバー仕様のみ) 1 | ⑪取扱説明書 set 1 | ⑫キー (⑫に同梱) 2 |

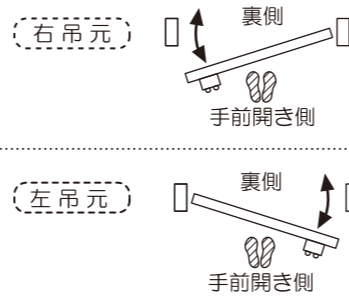
※非常開装置付は先固定本体側に取付きます。

1 各部の名前



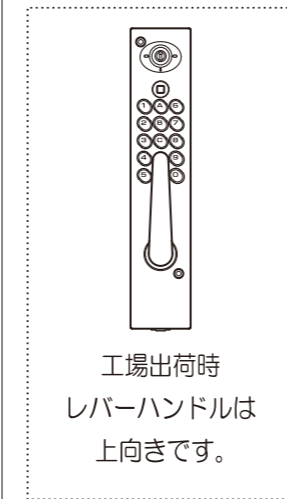
2 取付前の準備: ⑤作動確認が終わるまで、扉は閉めないでください (クサビ等で扉を固定するとよい)

【1】扉の吊元の確認
 手前開き側から見て、扉の丁番が右か左のどちらについているかで判断します。

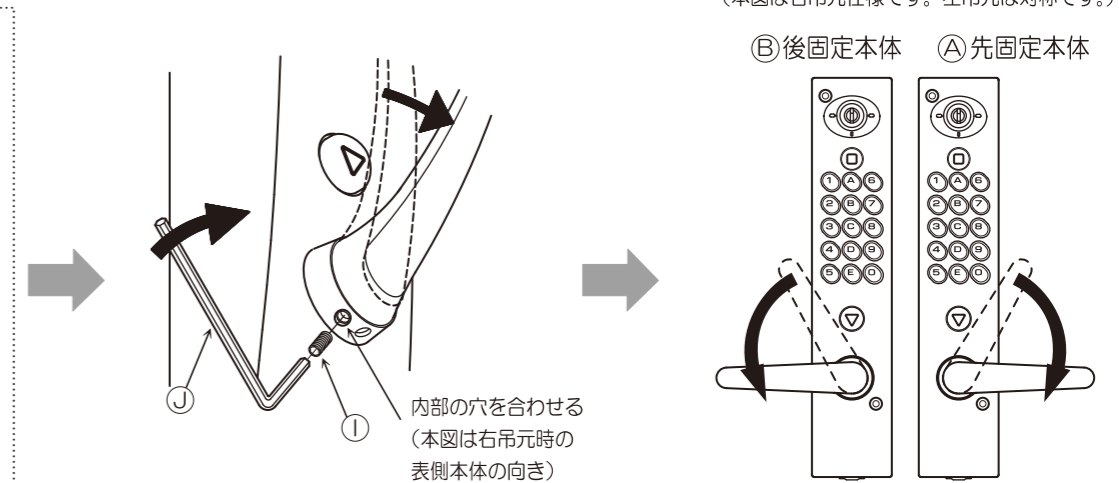


※非常開装置付は、装置組み込み側から吊元をご確認ください。

【2】①先固定本体②後固定本体のレバーハンドルを、左右対称に向きを変え固定します。



レバーハンドルの向きは対称にセットします。(本図は右吊元仕様です。左吊元は対称です。)

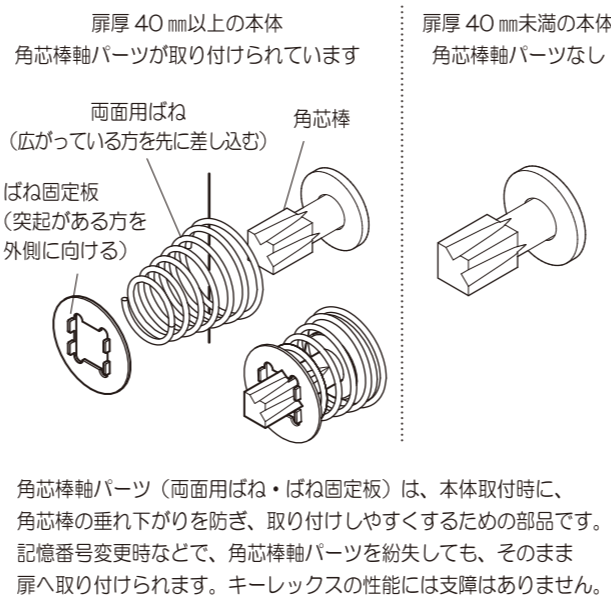


- I: リセットボタンを押します。
 - II: 吊元に合わせて、レバーハンドルを 30 度傾け、レバー座金下穴とレバー軸タップ穴を合わせたまま、III: ①六角穴付きねじを、②六角レンチで固定します。
- ※: ①六角穴付きねじをセットすると、逆吊元へのレバー操作は出来ません。ご注意ください。

- IV: レバーハンドルを吊元に合わせて正常な位置に向きを変えます。安全装置が作動しますので、強い力で向きを変えます。レバーが横向きになれば完了です。

- V: リセットボタン、現在の記憶番号、エンターボタンを押します。レバーハンドルを下向きに動かし戻る事を確認します。

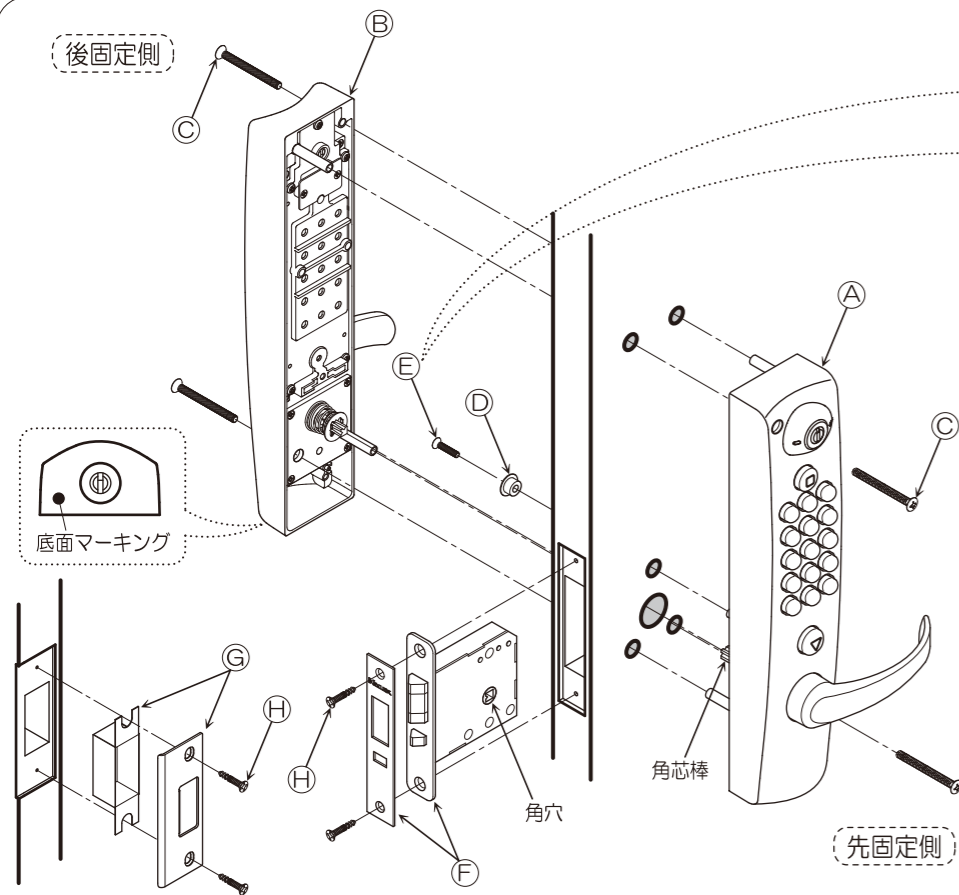
- VI: ①先固定本体②後固定本体のレバーハンドルの向きは左右対称にセットします。



3 扉への取り付け穴加工

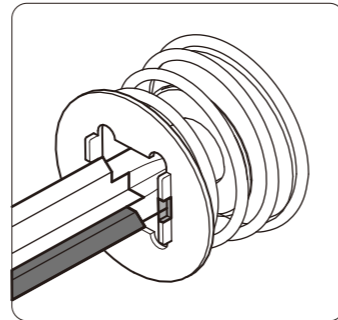
Ⓐ先固定本体・Ⓑ後固定本体・Ⓔ錠 set・Ⓕ受座 set の取り付け穴加工をします。
(KL4000 自動施錠 両面ボタンタイプ専用切欠図参照)

4 錠・受座・キーレックス 4000 両面ボタンの取り付け

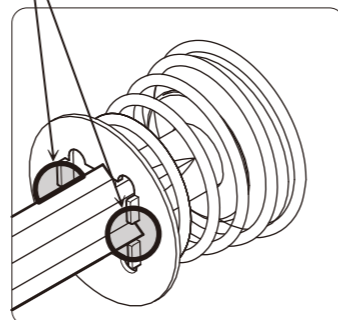


【扉厚 40 mm 以上の場合】
Ⓐ先固定本体、Ⓑ後固定本体 裏側の
角芯棒軸パーツのばね固定板の位置を調整する

① ばね固定板を角芯棒の根元まで押し込み、
ばね固定板を45度回転させて
ばね固定板の突起と突起の間 ■ に
角芯棒の角 ■ をセットする。



② ばね固定板を動かしながら位置を調整し、
ばね固定板の突起と突起の間、
対角2か所それぞれに角芯棒の角が
嵌め込まれているのを確認する。



※ 鍵付タイプでは、キーを抜いた状態でセットします。

I: Ⓔ錠 set を、Ⓕ錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。

II: Ⓕ受座 set を、Ⓕ錠・受座取付ねじ 2 本で取り付けます。

III: 扉表面に、Ⓐ先固定本体 (裏側パイプねじ 3 本・底面マーキングなし) をセットし、
Ⓖ両面用ねじ受けと、Ⓗ本体仮止めねじで固定します。

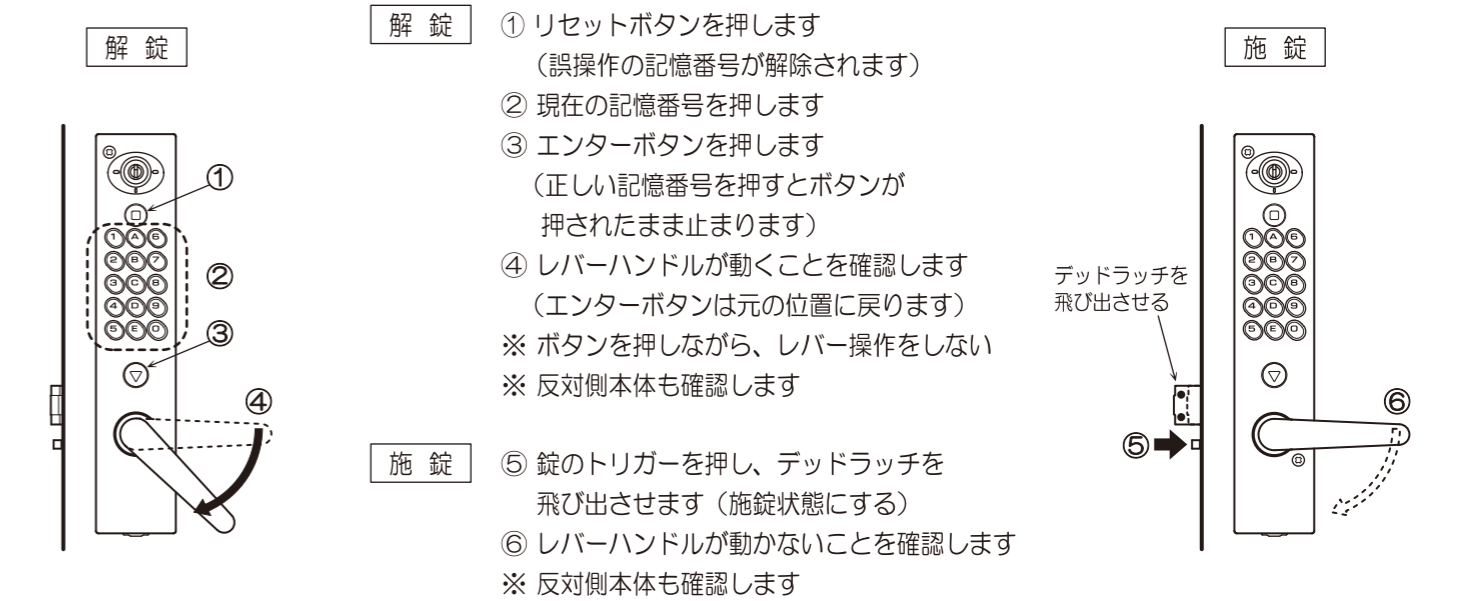
IV: 裏面に、Ⓑ後固定本体 (裏側パイプねじ 2 本・底面マーキングあり) をセットし、
Ⓒ本体固定ねじ 2 本で、Ⓑ後固定本体を固定します。

V: Ⓒ本体固定ねじ 2 本で、Ⓐ先固定本体を固定します。

※: 取り外しの時は、底面マーキングありの、Ⓑ後固定本体を外してから、仮固定してある Ⓐ先固定本体を外します。

5 作動確認: レバーハンドルが作動しない場合は、② ④ をもう一度確認してください。

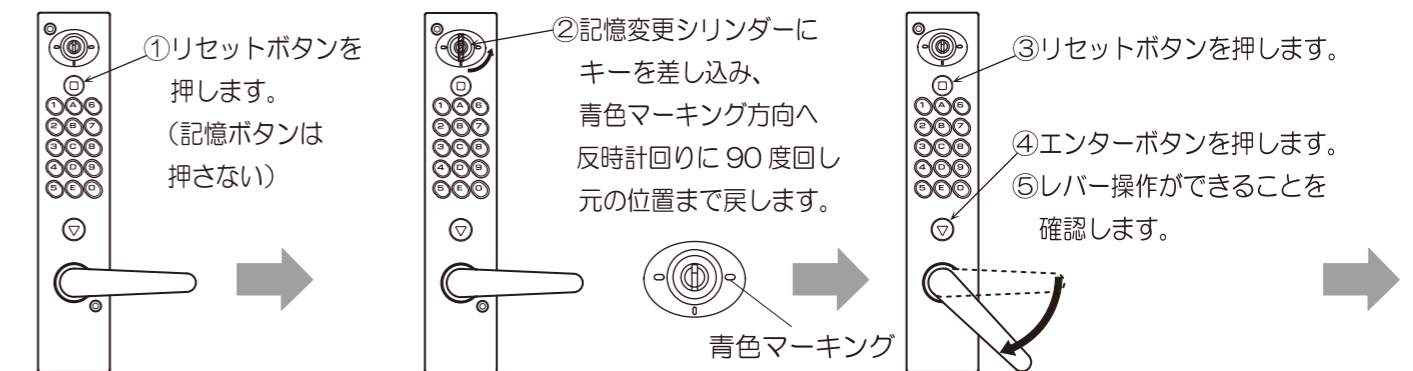
本体は Ⓐ先固定本体・Ⓑ後固定本体とも確認します



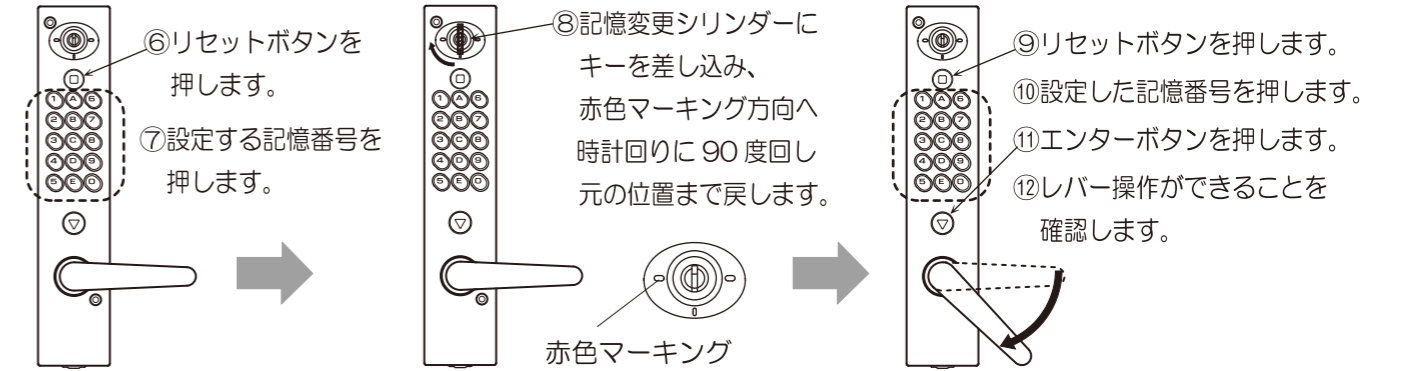
鍵付タイプの場合は、ボタン操作を行わずに、キー操作でも解錠できます。
解錠: ①解錠シリンダーにキーを入れて回し、デッドラッチが引き込まれることを確認します。

記憶番号の変更方法:

■記憶番号の消去方法



■記憶番号の登録方法



⑬ ④取り付けと ⑤作動確認をします。
⑭ 新しい記憶番号を必ず記録します。別紙取扱説明書 1 ページに記入欄があります。



株式会社 長沢製作所

www.nagasawa-mfg.co.jp

東京支店 TEL. 03-5383-1811 (代) FAX. 03-5967-3103
大阪支店 TEL. 06-6783-5091 (代) FAX. 06-6783-5092